

VLBIプログラム小委員会報告

藤沢健太、今井裕 (VLBIプログラム小委員会)

VERA・KAVA共同利用

- 形態

- VERAとKaVAの共同利用を並行して実施
- 1年に2回公募、観測実施も半年毎
 - 審査及び本小委員会も2回開催

- 審査と観測時間割当

- VERA共同利用時間は700時間／年以内
- そのうちKaVA時間は500時間以内
- KaVA審査・時間割当を先に実施
- VERA共同利用審査はKaVAの後

KAVA共同利用観測

- 『限定的共同利用』(リスク・シェア)
 - 対象者: 日韓中台の研究者
 - 周波数: 22/43GHz(1波のみ)
 - モード: 1ビーム、1偏波、1Gbps(周波数チャネル配分固定)
 - ToOを受け付ける
- 前後期2回公募
 - 前期(A): 2016/01/15-2016/06/15
 - 後期(B): 2016/08/15-2017/01/15
- 観測割当時間=500時間/年以内

応募状況と審査・時間配分

KAVA TIME ALLOCATION COMMITTEE (TAC)

• 応募

- 総数14 (A:11, B:3)
 - 日3、韓8、外3
- 総要求時間 488.5時間

• 採択

- 採択総数11 (A:8, B:3)
 - 日1、韓8、外2
- 観測時間 391.5時間

• TACメンバー

- Fujisawa K., Minh Y. C.,
Sohn B. W., Honma M.,
Byun D.-Y., Shibata K. M.

KAVA LARGE PROGRAM

- 大型観測計画
 - KaVAの研究の促進
 - 3(+1)研究グループ
 - サイエンス・ワーキンググループの活動を基礎とする
 - 年間100時間程度
 - 3か年計画
- 提案グループ
 - 星形成(廣田・Kim)
 - AGNs(紀・Sohn)
 - 晩期星(今井・Cho)
- Evolved stars
 - ESTEMA (Expanded Study on Stellar Masers)
 - 2015年7月承認→観測実施中
- Star forming regions
 - Understanding high-mass star formation through KaVA observations of water and methanol masers
 - 2016年1月に最終提案→承認→観測実施
- AGNs
 - Exploring the vicinity of super-massive black hole with KaVA: Intensive monitoring of M87 and Sgr A*
 - 2016年1月に最終提案→承認→観測実施

VERA共同利用観測

- 定常的共同利用
 - 周波数 = 6.7/22/43 GHz
 - 2ビームの観測 = 提案可能
 - 観測局の利用形態は3通り可能
 - VERAのみ
 - VERA+NICT34m
 - VERA+NRO45m+NICT34m
- 目標観測割当時間
 - VERA共同利用時間は700時間／年以内
 - KaVA時間(最大500時間)を除いた時間数が目安

応募・審査結果

• 応募

- 総数7(前年は16)
 - 国内4、国外3
 - AGN 0、メーザ 6、試験観測1
- 総要求時間 252時間(平均36時間/提案)
 - 野辺山・鹿島利用希望 2提案、56時間

• 採択

- 採択数 5(前年は9)(A:4, B:1) → 総合倍率1.4倍
- 観測時間 212時間 (A:196, B:16)
- 野辺山・鹿島の利用 2提案、56時間
(可能な範囲で実施)

時間割り当て以外の議事

- 議論

- VERA/KaVAともに、2016Bの提案数が極端に少ない
- Large Programの実施によって、共同利用に提案する必然性が減ったから？
- レフェリー群の数: 2 or 3?
- 新しい観測機能を公開する必要があるのではないか(バンド、偏波など)

観測所が主導する課題以外でも大型提案が実現するチャンス！

- VERA/KaVAへ野辺山45mが参加する可能性について

- 良い研究課題があり、利用の希望が強いなら、86GHzの可能性も含めて、VERA/KaVAへ野辺山が参加することを検討すべき

3バンド同時観測システム構築へ(HINOTORI)